

子育てに優しいまちづくりを目指した 子育て支援と支援ネットワーク強化に 資する大学の役割について

静岡福祉大学 子ども学部 子ども学科 坂田尚子

杉本祥太郎、齋川蒼斗、村木裕一
興津萌乃、小磯颯大、関 拓真



1. はじめに

- 地域の子育て支援をテーマに研究2年目
- 昨年の研究成果
 - 子育て支援センターでの調査
 - 地域の子育て支援をしている人々との交流会
 - 大学の役割…子育て支援のイベント開催
 - ネットワークの構築
 - 行政との協働・地域をつなぐ窓口



2. 研究の目的

- 小学校卒業までの連続した子育て支援
 - 「質の高い体験の保障」を軸に
- 大学の役割・大学ができることの模索
 - ニーズに応じた対応とは
- 地域でのネットワークの強化の試み
 - 子育て支援活動・支援者のハブになれるか

3. 研究内容 視点①

- 子育て支援事業の実態調査と活動への参画
 - 行政担当課へのヒアリング調査
 - 支援施設・支援事業でのインタビュー調査
 - 支援活動への参画・実践によるアクションリサーチ→ニーズの洗い出し



3. 研究内容 視点②

- 子育て支援ネットワーク強化のための実践
 - 支援者との協働、イベントの企画・実施を通して
 - 「第2回子育て支援ネットワーク会議」開催
 - 関連情報の発信
- STEAM教育を基盤とした活動の企画と実施
 - 支援の場で提供するプログラムの開発
 - 子どもたちへの体験活動の実践

4. 研究の成果 視点①

- 子育て支援センター、学童クラブへの訪問ができた
- 子育て支援の枠を超えて、地域の資源（公園）などの利用についてもヒアリングができた
- 藤枝市「子育てフェスタ」静岡科学館「科学の祭典」への参画により、ニーズやプログラムのありかたについて調査ができた



4. 研究の成果 視点②

- 第2回子育て支援ネットワーク会議および研修会の開催（2024年12月6日）
 - 学生による活動報告、子育て支援者による意見交換
 - 子育て支援に資する体験型プログラムの紹介
- 夏休みに学童クラブでの実践
 - 3クラブ、全7回、参加児童のべ196人
 - 「遊びは学び」をコンセプトにSTEAM教育を基盤とした体験型プログラムの開発と実践
- 大学祭での「しずふく科学で遊ぼう」企画・実践



静岡市地域産業研究・創造事業
子育てに楽しいまちづくりを推進し子育て支援を
支援もってアップが図るに資する大学の役割についての実践的貢献

しずふく かがく あそ 科学で遊ぼう

●スタンプラリー
4つの科学を体験してスタンプを集めよう！

ロケット
で遊ぼう

スライム
で遊ぼう

わなげ
で遊ぼう

たこあげ
で遊ぼう

スタンプが1つ集まると

魚釣り挑戦

？ 釣った魚は
プレゼント

しずふく祭

2024年11月24日(日)
10:30~12:00(受付終了)
静岡福祉大学芝生広場
※雨天は会場が体育館内に変更です
(当日の案内をご確認ください)
担当: 坂田典子 木戸直美

このチラシ
持参で
参加費は
無料だよ！

●ふくね

無料駐車場完備

※当日は道路側の駐車場に停めてください。



近隣保育所の園児作品
などを展示します
(N2教室)
見に来てくださいね！

●主催/静岡福祉大学 坂田直美・木戸直美
●お問い合わせ/静岡福祉大学企画戦略課(櫻井)
☎054-633-5200
静岡福祉大学
〒425-8611 静岡県静岡市清水区中校549-1

ご参加

しずふくかがくであそぼう

スタンプラリーカード

🐱 かがくをたいけんしてスタンプをもらってね 🐱

わなげ

たこあげ

スライム

ロケット

すべてのスタンプをあつめてごきげんまつにちょうせんしよう！

5. 市への提言

大学を巻き込みませんか

- それぞれの立場…支援が形作られ実現している
 - 小学校卒業までの途切れることのない支援のつながり・あり方が明確化されると良い
- 地域の子育て支援の実践者と行政、大学との協働
 - 支援活動を支える大学（人的資源・知的資源など）
 - 支援活動を結ぶための役割・活動のハブになれる
 - 質の高い活動＋諸問題を抱えた子どもへの支援

6. おわりに

- 子どもたちへいろいろな体験を提供できた
- 学生たちの学びにつながった
 - 多くの場、多くの子どもたちとの実践→体験の蓄積
 - 「遊びは学び」体験的な質の高いプログラムを工夫
 - 大きなイベントに参加→企画・運営の実際を見学
 - 支援者の生の声が聞けた→支援の大切さに気付く
- 機会を重ねていろいろな面で地域と連携する大学としての姿を見ていただけた

貴重な機会をいただけて心より感謝いたします